

## 佐賀県支部

### 「佐賀県における温泉旅館の経営革新」調査研究

#### 第1章 温泉旅館の現状について

昨今の旅館業を取り巻く環境は、デフレによる消費の低迷、「ライフスタイル・消費行動・嗜好の変化」等消費者の欲求の変化が重なり、旅館利用の落ち込みが激しく、経営環境は厳しい状況にあります。

- 1 では、観光を取り巻く環境についてマクロ的に述べ、
- 2 では、全国の温泉旅館の現状について、
- 3 では、佐賀県の温泉旅館の現状と現在の動きについて述べました。

#### 第2章 佐賀県の温泉旅館の実態（ヒアリング報告書）

アンケートに回答のあった4組合25館のうち、2組合13館を対象に訪問し、経営者、管理者の方に面談取材しました。施設・顧客層の内訳・予約方法・宿泊プランの種類・販売促進等旅館の概要、当館の特徴と強み、経営理念、新幹線等環境変化によるメリット・デメリット、今後の課題と展望について、お伺いしました。

#### 第3章 アンケート調査

アンケートは、嬉野温泉旅館組合、武雄温泉旅館組合、武雄温泉観光旅館組合、古湯旅館組合、熊の川旅館組合、太良町竹崎かに旅館組合の6組合と各組合員旅館82館を対象に送付し、そのうち、4組合25館から回答を得ました。アンケート結果を見てみますと次のことが言えると思います。

温泉旅館を取り巻く環境を考慮すると、現状のままでは横ばいか下降気味になるという危機感もっていますが、立地による状況の違いも加わり、今後予想される環境変化をどう生かし、どう対応していくかを模索している状況が伺えます。

#### 第4章 調査報告及び提言

調査の総括として、

- 1 では、佐賀県の温泉旅館が、この約20年間にどのような環境の変化を受けてきたのか、その特殊性を述べ、
- 2 では、「現在の顧客が温泉に望むものは何なのか」の参考データを参照し、その状況を検証し、
- 3 では、この顧客の意向に対し、今回調査した温泉旅館はどう対応しているのかを検証し、温泉旅館はどうあるべきかの提言を述べました。